

回覧	<稲むらの火の館>	第38号	年に一度は
広川町	やかた だより	H25・5月	館に行こう！

○館では多くのボランティアさんに協力して頂いております。

<お掃除ボランティアさん(水・金)>
朝9時から記念館のお掃除等、週に1回・2班に分けてお願いしています。

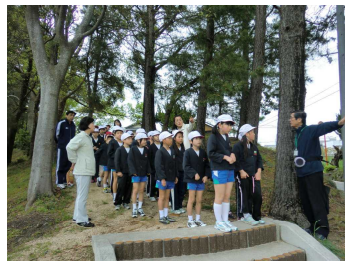
<「生け花」ボランティアさん>
「草月流」(奇数月)・「蕉月流」(偶数月)に月替わりで梧陵記念館に生けて頂いています。

※「生け花」についてのお問い合わせは
草月流・・・中内京子氏(63-3769)
蕉月流・・・石橋重美氏(63-0185)
までお問い合わせ下さい。

○語り部サークル

館では、ご希望により語り部さんに広村堤防の案内をしていただく事ができます。但し、ご予約は館までお願いします。

語り部サークルでは、濱口梧陵について勉強し、その偉業を史跡を案内しながら伝える活動をしています。

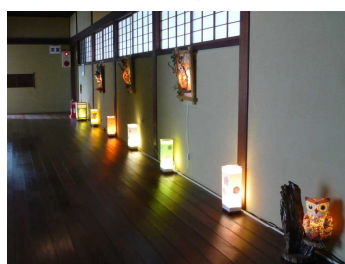


興味のある方は、中央公民館事務局(63-2295)までお問い合わせ下さい。

○今やかたでは・・・

3月より記念館のローカをたくさんの行灯で飾り付けています。これらは、地元広川町の方や和歌山市の方から寄贈された行灯と職員手作りの行灯です。

きれいですよ！
見学にいらして下さいね。



○お客様の声コーナー

*実はこの前2月に見学に来たのですが、昨日、TVで知事さんが新しくなった3D映画を見ているのが映ったので、さっそく見学にきました。今日から公開でしたよね。
(4月17日来館のご夫婦)

*先ほど、3Fで講話を聞かせてもらいましたが、その中で、家族内での防災対策の話が出てきました。よく考えてみると、どこへ避難するとか決めていなかったなあ〜と、帰って嫁さんと話してみます。
(50代男性)

○今やかたでは・・・

記念館多目的室では、3月からなごみ交流センター図書室の活動作品と写真や本を展示しています。

5月まで展示していますので見学にいらして下さい。



○平成24年度「稲むらの火の館」来館者数の集計です。(人)

4月	2,349	10月	7,843
5月	4,348	11月	7,688
6月	4,658	12月	1,830
7月	2,909	1月	1,177
8月	2,497	2月	2,978
9月	4,514	3月	2,353
参考(H23年:45,697人)		合計	45,144

平成24年度の来館者数が23年度と同様に4万人を突破しました。今年に入って若干減少傾向が見受けられましたが、津波の想定も見直され、3Dハイビジョン新作映像も公開となり、来館者の防災意識の高まりや来館者数も期待できそうです。

裏もご覧下さい。

2面 広川町	<稲むらの火の館> やかただより	第38号 H25・5月	いざという時 あなたは！
-----------	----------------------------	----------------	-----------------

< 梧陵シリーズ1 >
しちた ぎた
～七太・儀太の章～

「家憲（梧陵傳より）」「文武両道に修行」

*** 濱口家家憲**
いへど
「たとへ主人と 雖もその少年時代の逸楽安居も許さず。」

一には自ら困苦に堪えうる習ひを養ひ
一には人を率ゐるの道をしらしめん」

*たとへ主人といえども少年時代に遊び暮らすことを許さず、

一つには自ら困難に立ち向かう態度を養い、
一つには人を率ゐる道理を得る。

『徳育は人格をつくる骨格となります。この頃家憲に習い修行し、教養として学んだ儒学的倫理観が、梧陵の思想と生き方の根幹となっていきました。』



しょうゆづくりの家に生まれて

< 1820年梧陵誕生 >

幼名を「七太」と名付けられました。元禄時代よりしょうゆ醸造を営む大店の分家に生まれましたが、幼少時に実父を亡くし、母一人の手で育てられます。

12歳のとき、本家の跡継ぎとなり、その名を「儀太」に改めます。このとき儀太は実のお母さんを「叔母さん」と呼ぶ関係になりました。

< しょうゆづくりの家に生まれて >

豪商の家に生まれた七太は幼少より「よみ」「かき」「そろばん」を習い、「論語」をも誦んじたものと思われま。

梧陵は12歳のとき、跡継ぎとして家業見習いに入り、代々の教えに従い丁稚と寝食を共にし、苦勞しながらも一心に家業にいそしみました。

【5月の主な災害等】

- 5 / 3 国鉄三河島二重衝突事故 (S37年) 死者160人
- 5 / 9 伊豆半島沖地震 (S49年) M6.9 死者・行方不明者168人
- 5 / 12 四川大地震 (H20年) 死者・行方不明者87,000人
- 5 / 13 大阪千日デパートビル火災 (S47年) 死者118人
- 5 / 14 信楽高原鉄道列車衝突事故 (H3年) 死者42人、負傷者416人
- 5 / 16 十勝沖地震 (S43年) M7.9 死者52人
- 5 / 18 セントヘレンズ火山大爆発 (S55年)
- 5 / 21 雲仙岳噴火 (1792年) 死者15,000人
- 5 / 23 北但馬地震 (T14年) M6.8 死者428人
チリ地震津波 (S35年) M9.5 死者・行方不明者139人
- 5 / 26 日本海中部地震 (S58年) M7.7 死者104人

過去の「その月の主な災害等」を防災ダイアリー【今日は何の日】から抜粋

やかただよりがインターネットで見ることができます。
稲むらの火の館で検索してください。
そして、ブログの中に、やかただより5月号がありますので、開いてください。
カラーで見ることができますよ。

< 稲むらの火の館の紹介 >
濱口梧陵記念館／津波防災教育センター
〒643-0071 住所 広川町広671
TEL : 0737-64-1760 / FAX : 0737-64-1761
<http://www.town.hirogawa.wakayama.jp/inamurano-hi/>
*開館時間：午前10時～午後5時（受付終了4時）
*休館日：月曜日・火曜日（祝日開館）
年末年始（12/29～1/4）
*記念館だけの入場は無料です。